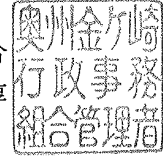


奥州金ヶ崎行政事務組合告示第16号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、胆江広域水道
用水供給事業の業務状況（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）を別紙のとおり公
表する。

令和7年11月18日

奥州金ヶ崎行政事務組合
管理者 倉 成 淳



1 事業の概況（令和7年9月30日現在）

月別の水量（取水、供給、有効、有収）

区 分		取水水量 (m^3)	供給水量 (m^3)	有効水量 (m^3)	有収水量 (m^3)
令和7年	4月	340,596	309,086	309,086	304,927
	5月	331,364	301,423	301,423	297,367
	6月	340,286	310,594	310,594	306,558
	7月	341,233	311,360	311,360	307,678
	8月	362,224	331,774	331,774	328,394
	9月	369,534	330,310	330,310	327,416
合計		2,085,237	1,894,547	1,894,547	1,872,340
前年同月合計		2,071,968	1,883,669	1,883,669	1,863,173
対前年度	増減	13,269	10,878	10,878	9,167
	増減率	0.64%	0.58%	0.58%	0.49%

取水量、供給水量及び有収率

区 分		令和7年度	備 考
取水量	年間取水量 (m^3)	2,085,237	
	一日最大取水量 (m^3)	12,725	令和7年9月2日
	一日平均取水量 (m^3)	11,333	
供給水量	年間供給水量 (m^3)	1,894,547	
	一日最大供給水量 (m^3)	11,361	令和7年8月13日
	一日平均供給水量 (m^3)	10,296	
有効率	年間供給水量 (m^3) (A)	1,894,547	
	有効水量 (m^3) (B)	1,894,547	
	有収水量 (m^3) (C)	1,872,340	
	有効無収水量 (m^3)	22,207	
	無効水量 (m^3)	0	
	有効率 (B/A × 100) %	100.0	
	有収率 (C/A × 100) %	98.8	

2 令和7年度胆江広域水道用水供給事業会計予算執行状況（令和7年9月30日現在）

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

収入

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業収益	742,987	0	742,987	361,856	48.7%
第1項 営業収益	606,558	0	606,558	293,671	48.4%
第2項 営業外収益	136,429	0	136,429	68,185	50.0%

※営業外収益は、長期前受金戻入予算額2分の1を含む。

支出

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業費用	768,661	3,229	771,890	314,140	40.7%
第1項 営業費用	675,398	3,229	678,627	288,515	42.5%
第2項 営業外費用	88,263	0	88,263	25,625	29.0%
第3項 予備費	5,000	0	5,000	0	0.0%

※営業費用は、減価償却費予算額2分の1を含む。

(2) 資本的支出（税込み）

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 資本的支出	299,237	0	299,237	136,234	45.5%
第1項 創設事業費	151	0	151	0	0.0%
第2項 建設改良費	26,928	0	26,928	0	0.0%
第3項 企業債償還金	272,158	0	272,158	136,234	50.1%

3 令和6年度決算の状況

供給から16年が経過する施設の維持管理については、各設備の状態を見極め、必要十分な更新により経費の削減を図りながら水道用水の安全供給に努めた。

また、たんこう浄水場3期整備に向けて実施設計（基本設計）業務を進める過程において、事業費が大幅な増額になったことにより、令和10年までとされていた「たんこう浄水場3期整備」の完了が厳しい見通しとなったため、今後の事業推進について検討組織を立ち上げ、見直しを行うこととした。

(1) 水道用水供給の状況

水道用水の供給は、奥州市内7か所の受水池へ年間 3,610,367 m³供給し、令和5年度との比較では 12,905 m³の減となった。年間総有収水量は 3,568,112 m³となり、前年度比較で 1,421 m³の増となっている。

(2) 建設改良工事の状況

建設改良として、たんこう浄水場の濁度計の更新工事を施工した。

(3) 経営の収支状況

収益的収入及び支出の状況については、収入においては総額 672,295,447 円（消費税及び地方消費税込み額 725,060,065 円）となり、うち用水供給収益は 527,644,594 円（消費税及び地方消費税込み額 580,409,040 円）となった。

支出においては、総額 719,054,325 円（消費税及び地方消費税込み額 767,268,943 円）となり、この結果、46,758,878 円の当年度純損失が生じた。

資本的収入及び支出の状況については、収入においては、企業債 14,400,000 円、構成市町出資金 14,483,000 円、国庫補助金 14,483,000 円、構成市町負担金 84,000 円で収入総額 43,450,000 円（消費税及び地方消費税込み額）となったのに対し、支出においては、創設事業費 43,450,000 円、建設改良費 6,600,000 円、企業債償還金 284,613,245 円で、総額 334,663,245 円（消費税及び地方消費税込み額）となり、資本的収支不足額 291,213,245 円は、当年度分消費税資本的収支調整額 4,550,000 円、減債積立金 284,613,245 円及び過年度分損益勘定留保資金 2,050,000 円で補填した。